

南部地域 [雑司が谷、高田、目白、南池袋（一部）、西池袋（一部）]

南部地域は、人口約4万7千人、約3万世帯が暮らす地域です。学習院大学や雑司ヶ谷霊園など、大規模な緑地をはじめ、みどり豊かな地域でもあり、緑被率も20.5%と5つの地域の中でも最も高くなっています。

雑司が谷は、池袋に隣接する地域ながら、重要文化財・雑司ヶ谷鬼子母神堂、法明寺などの寺社、古い家並み、文化人が眠る雑司ヶ谷霊園、手塚治虫が創作活動を行った並木ハウス、雑司が谷旧宣教師館、東京音楽大学など、歴史と文化を感じさせる魅力に溢れ、静かでどこか懐かしい雰囲気漂うまちです。こうした特色を活かしたまちづくりのため、平成22年7月には「雑司が谷案内処」を開設し、雑司が谷地域の情報を発信しています。

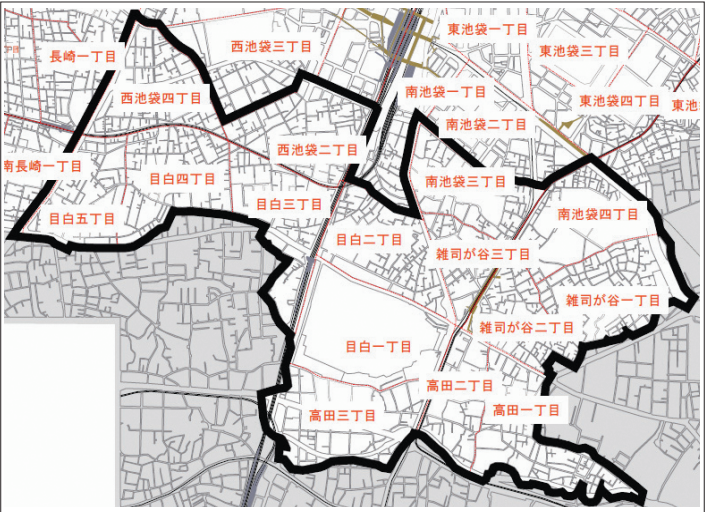
平成26年12月、雑司が谷地域の歴史と文化のまちづくりの活動「雑司が谷がやプロジェクト」が、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が推進する「プロジェクト未来遺産2014」に登録されました。

また、平成27年4月、雑司が谷1・2丁目、南池袋4丁目地区において、不燃化特区の新規指定を受けました。そのような中、雑司が谷地区の中でも特に危険度の高い雑司が谷二丁目の中央に位置する高田小学校跡地が公園として整備され、令和2年3月に開園しました。

目白は、目白通りを中心に、学習院大学や川村学園女子大学、日本女子大学などが立地する学生のまちであるとともに、個性的なギャラリーや切手の博物館、歴史を感じさせる教会や洋館など山手文化が息づく街です。さらに、西武池袋線を挟み、フランク・ロイド・ライトが設計した重要文化財・自由学園明日館、鈴木三重吉により創刊された童話雑誌「赤い鳥」に因んで命名された数寄屋造りの茶室「赤鳥庵」を配した回遊式庭園「目白庭園」など、大正デモクラシーの息吹を伝える文化資源にも恵まれています。また、目白通りから一步入ると、東京のなかでもブランド力の高い閑静な住宅地が形成され、落ち着いた佇まいを見せています。

目白から高田にかけては、神田川に向けて急傾斜地となっています。坂を下った神田川沿いは桜の名所でもあり、目白の地名の由来である目白不動尊を祀る金乗院などの寺社が点在しています。

また、高田は、現在でも、手描き友禅など江戸の伝統工芸が受け継がれているまちでもあります。



1	面積	250.9 ha
2	人口	47,354 人
3	人口密度	189 人/ha
4	14歳以下の人口の割合	11.1 %
5	65歳以上の人口の割合	20.1 %
6	外国人人口の割合	7.4 %
7	一般世帯数	29,695 世帯
8	ファミリー世帯の割合	22.3 %
9	単独世帯の割合	62.3 %
10	建築物の耐火率	67.7 %
11	一人あたりの公園面積	0.85 m <sup>2</sup>
12	緑被率	20.5 %

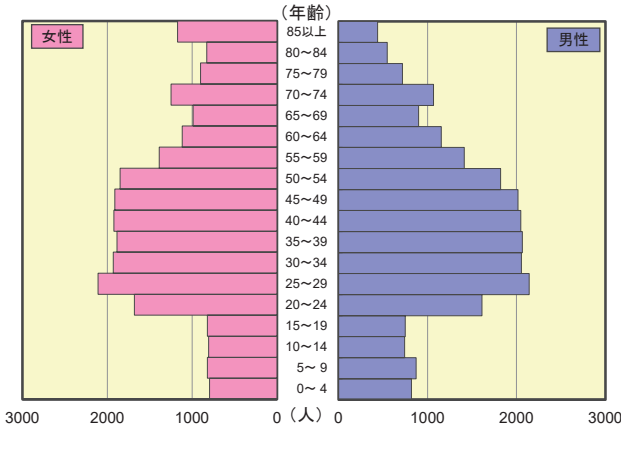
- 【2～6】 住民基本台帳[日本人住民及び外国人住民](令和4年1月)  
【7～9】 国勢調査(令和2年)  
【10】 土地利用現況調査(平成28年)  
【11】 公園・児童遊園現況一覧(令和3年4月)  
住民基本台帳[日本人住民及び外国人住民](令和3年4月)  
【12】 緑被現況調査(令和元年)

人口の推移



人口の年齢構成 (令和4年1月)

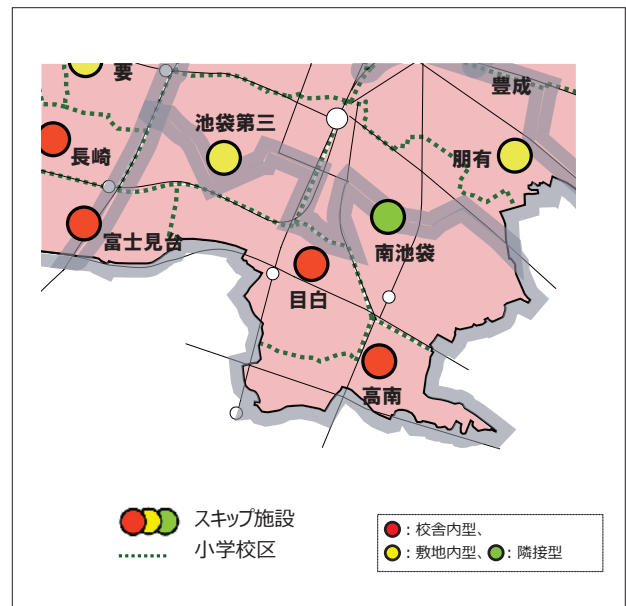
住民基本台帳(日本人住民・外国人住民)



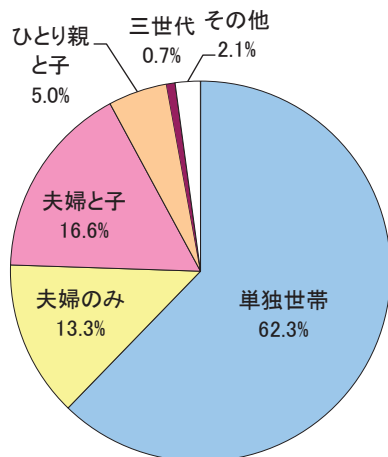
### 地域区民ひろばの展開状況



### 子どもスキップの展開状況



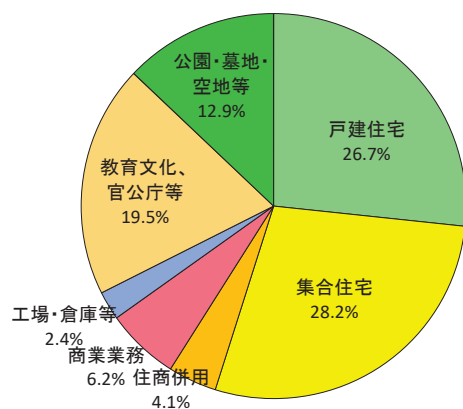
### 世帯の状況 (令和2年10月) 国勢調査



### 救援センターと対象区域

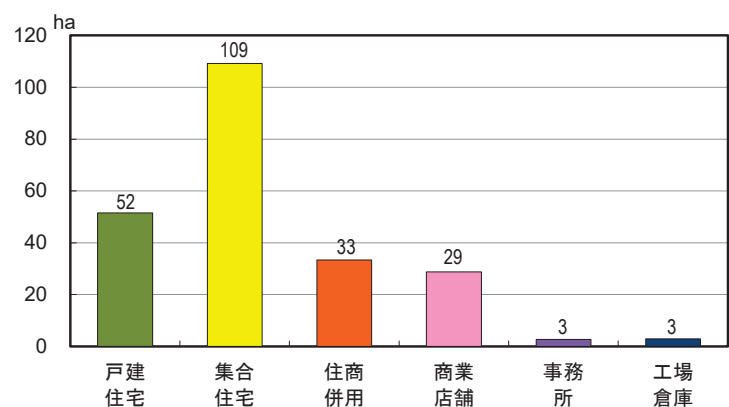


### 土地利用の状況 (平成28年) 土地利用現況調査 (豊島区)



### 用途別・建物床面積の状況 (令和元年)

用途別構造別土地利用データ (東京都主税局資料)





## ●南部地域

〔雑司が谷、高田、目白、南池袋（一部）、西池袋（一部）〕





